

広報ふたば



【表紙写真】いつまでもお元気で（鴻崎フミ様賀寿式）



町民の皆さまへ

実りの秋を迎えました。9月には相次いで大きな台風が日本列島を襲い、岩手県や北海道など北日本に甚大な被害をもたらしました。昨年は茨城県で鬼怒川が、宮城県で渋井川が氾濫し、大災害をもたらしたことは記憶に新しいところです。双葉町内の台風の被害は確認されなかったものの、災害はいっどこで起こるか分からないことを改めて肝に銘じました。

以前から福島県に要望しておりましたアーカイブ拠点施設について、8月29日に県の新生ふくしま復興推進本部会議において、要望どおり双葉町への整備が決定されました。アーカイブ拠点施設へ多くの人が訪れることは、大震災と原発事故という複合災害によってもっとも深刻な被害を受けた町の一つである双葉町の復興の加速化につながるものであると考えております。今後、県には町と十分な協議をしながら、情報発信拠点にふさわしい施設を整備するよう求めていきたいと考えております。

また、9月6日には、独立行政法人都市再生機構と「双葉町内復興拠点の整備等の復興まちづくりの覚書」を締結いたしました。この覚書は、復興まちづくりに関する計画、調査、設計等に関し、機構から技術的な助言及び提案やノウハウの提供その他の技術的支援を受けるために取り交わしたもので、双葉町の復興拠点整備等の一層の加速化を図ってまいります。

これまで内装・設備等の改修を進め

てきた双葉町コミュニティセンターの工事が完了し、9月10日から双葉町の帰還困難区域では初めてとなる町内の一時立ち入りの際の休憩施設として利用が開始されております。一階の多目的スペースを開放し、水洗式トイレや飲料水の提供が可能になっておりますので、一時立ち入りの際には、お立ち寄りいただきたいと思います。

また、国道6号沿いの田中合名会社のガソリンスタンドも再開いたしました。

少しずつではありますが、復興に向けた取り組みが実現に向かって進んでいると感じています。

10月2日には震災後初めての双葉町敬老会をスパリゾートハワイアンズで開催いたします。バスでの送迎もありますので、多くの高齢者の皆様のご出席をお待ちしております。アトラクションとして木村友衛歌謡ショーも予定しておりますので、双葉町を思い出しながら懐かしい歌をお聴きいただきたいと思っております。

また、10月14日からは県内外14カ所で町政懇談会を開催いたします。広く町民の皆さまの意見を町政に反映する機会ですので、ぜひご出席いただきご意見やご提言をお聞かせ願いたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

過ごしやすい季節になりましたが、寒さに向かう季節ですので、健康管理にはくれぐれもご注意くださいようお願いいたします。

双葉町長 伊澤 史朗

今村復興大臣、世耕経済産業大臣が双葉町内を視察

8月9日、今村雅弘復興大臣と世耕弘成経済産業大臣が、就任後初めて双葉町内を訪れ、伊澤史朗町長が町内復興拠点基本構想を説明した後、JR双葉駅を中心とした復興拠点の予定地を視察しました。



独立行政法人都市再生機構と覚書を取り交わしました

9月6日、町が行う復興拠点等の整備に係る計画、調査等に関し、機構から技術的な助言や提案、ノウハウの提供その他の技術支援を受けるため、町は独立行政法人都市再生機構と「双葉町復興拠点の整備等の復興まちづくりの推進に向けた覚書」を取り交わしました。



埼玉県加須市と友好都市の盟約を締結します



友好都市盟約締結式は、11月3日（文化の日）にいわき市植田「八幡台やまたまや」で執り行います。

埼玉県加須市におかれては、東日本大震災と原発事故により双葉町から避難を余儀なくされた双葉町民の受け入れや平成23年4月1日から埼玉県立旧騎西高校内に避難所とともに役割機能の設置にあたり、大橋良一市長をはじめ、多くの市民の皆さんから物心両面にわたり多大なご支援をいただきました。現在もお、継続した支援をいただいております。

平成25年6月17日にいわき事務所を開所するまで2年3カ月にわたり役割機能を加須市に置かせていただいたことは、双葉町の歴史に深く刻み込まれることでもあります。このような加須市とのご縁を大切に、加須市民の皆さまのご厚意に対する感謝の念を後世に引き継ぐとともに、今後、加須市との交流の輪を広げ、友好の絆を一層強いものとするを目的に、埼玉県加須市と友好都市の盟約を結ぶこととなりました。

◆ 賀寿の祝い ◆ 満百歳おめでとうございます



8月29日、鴻崎フミさん（鴻草）がめでたく満百歳の誕生日を迎えられ、宮城県仙台市内の仙台ロイヤルパークホテルにおいて賀寿式が行われました。朱色の帽子とちゃんちゃんこを身に付けたフミさんは、お祝いの花々に囲まれとてもお元氣そうに、家族やお祝いに駆け付けた親族の方々と笑顔であいさつを交わされていました。

式では、初めに双葉町からの賀寿と敬老祝い金が伊澤史朗町長から手渡されました。続いて、福島県知事からの賀寿と記念品の木杯が伊澤町長から伝達されました。

次に双葉町老人クラブ連合会会長の玉野憲一さんから賀寿と祝品が贈られました。

伊澤町長は、ご子息の太郎さん、孫の正武さんに町政発展のために多大なるご尽力をいただいていることへ

の感謝の言葉を述べ、「これからも健康に留意され、お元氣にて私ども後進のために、ご指導を賜りますようお願いいたします」とお祝いの言葉を述べました。

続いて佐々木清一町議会議長がお祝いの言葉を述べられ、賀寿を祝いました。ひ孫の三品桃子さんが花束を贈呈し、孫を代表して吉田翔さんが、双葉町やフミさんとの思い出を語りかけるように話されました。フミさんはしっかりとした口調でお礼の言葉と「皆さまのご健康をお祈りしています」と述べられました。続いて長男の太郎さんがフミさんの近況について話され、お礼のあいさつを述べられました。

フミさんは、新聞や広報紙を読むことが趣味で、なんでもおいしく食べられ、規則正しい生活をして日々を過ごされているとのことでした。



第3回双葉町議会定例会

9月8日招集の平成28年第3回双葉町議会定例会で、伊澤史朗町長が行政報告を行いました。その概要をお知らせします。

行政報告



8月16日のレース当日は、双葉町いわき事務所においてライブ放送を観戦し、町民の皆さんとともに応援をしました。惜しくもメダルには届かなかったものの、渡邊選手の競技に取り組む姿勢は町民の皆さんに勇気と感動を与え、子どもたちにも夢と希望を与えてくれたものと思います。渡邊選手の活躍に心から敬意と感謝を申し上げます。

6月定例会以降の

行政経過

ーリオデジャネイロオリンピック出場
渡邊一成選手応援ー

6月18日、渡邊一成選手のリオデジャネイロオリンピック自転車競技男子ケイリン出場を祝い、大会での活躍を祈念し、壮行会を開催いたしました。



ー双葉町復興シンボル軸ー

6月18日はいわき市で、19日には郡山市で双葉町の復興シンボル軸として位置づけしております県道井手長塚線と町道久保前・中浜線外2路線の事業計画説明会を福島県と双葉町合同で開催いたしました。また、6月25日にはいわき市で、震災前より計画のあった町道山田・郡山線道路改良事業の説明会を開催いたしました。

ー生まれ！ふたばっ子2016ー



7月16日、17日の両日は、スパリゾートハワイアンズにおきまして、将来の双葉町を担う小・中・高校生の再会の機会と、児童生徒同士とのつながりと心の交流、絆の維持発展のため「生まれ！ふたばっ子 2016」を開催いたしました。全国各地から多数の小中高校生と保護者の皆さんが参加され、ミニコンサートや双葉町民謡同好会による

「壁塗り甚句」の披露と参加者による体験、世代別グループ協議などが行われ、参加された皆さんは楽しい交流の時間を過ごされておりました。

ー双葉郡スポーツ交流大会ー

7月18日は、広野町におきまして、双葉郡スポーツ交流大会が開催されました。双葉町からは、バレーボール、野球、剣道競技に出場し、バレーボールは準優勝、野球は第3位、剣道は二選手が入賞という見事な成績を収めました。選手の皆さんの元気いっぱいプレーに大変勇気付けられたところでもあります。

ー国への要望活動ー

7月19日、20日の両日は、当町の復興に向けた重点課題について、双葉町議会岩本副議長と双葉町商工会田中会長とともに、国への要望活動を行いました。今回の要望活動は、平成29年度の国の予算編成に向けて行ったもので、復興庁、経済産業省など関係省庁に対し、復興財源と国の支援体制の長期的な確保、帰還困難区域の取扱い方針と双葉町への帰還可能時期の早期提示、町内の早期除染の実施、被害実態に即した賠償の実施と長期避難が続く双葉町民の生活再建支援、避難者に対する高速道路の無料措置の延長、高齢者が安心できる医療・福祉施策の支援継続・充実、町商工事業者の事業再開に対する支援措置など、復興に向けた喫緊の課題について、その実現を強く要望いたしました。

要望先の大臣などからは、当町の現状と復興の課題について、ご理解をいただいたものと考えております。今後も引き続き、国等への要望を実施し、町の復興の実現に向け取り組んでまいります。

― 双葉町町民会議 ―

7月22日は、福島県内の学校などの除染土壌等を早急に搬出できるように、町有地を一時使用させて欲しいとの自民党の要請に対し、町民の意見を集約すべきとの議会からの意見を踏まえ、双葉町町民会議をいわき市勿来市民会館で開催いたしました。また、7月29日には、双葉町行政区長会を双葉町いわき事務所で開催し、ご意見をいただきました。



― 相馬野馬追 ―

7月23日から25日は、国指定重要無形民俗文化財「相馬野馬追」が南相馬市で盛大に開催されました。

双葉町騎馬会からも6騎の騎馬武者が標葉郷から出陣し、五郷の騎馬武者とともに、雲雀ヶ原祭場に向けて進軍し、甲冑競馬、神旗争奪戦などに参加し、赫々たる武勲を上げられました。また、7月24日には、今年度発足した双葉町相馬流れ山踊り保存会の会員と大熊町の参加者、総勢76名による相馬流れ山踊りが披露されました。

― 原子力損害賠償紛争審査会 町内視察 ―

7月27日は、原子力損害賠償紛争審査会による町内視察が実施され、中間指針等に基づく賠償の実施状況を確認するため、審査会委員や国の関係者など約20人が参加して行われました。中野地区復興産業拠点基本構想を説明するとともに、鎌田薫会長に対して「原子力損害賠償紛争審査会の今後の審議に向けた要望」を行いました。今回の要望では、被害者一人ひとりの被害実態に即した賠償等が確実になされ、生活再建等を確実に果たすことができるよう、①避難生活の長期化による精神的苦痛に係る賠償、②避難指示区域内の営農損害、③避難指示区域内の営業損害及び就労不能損害、④地方公共団体の財物に係る賠償、の4項目を審査会において審議し、指針に明示するよう強く要望いたしました。

― 中学生海外派遣事業 ―

8月2日から8月8日まで、震災後初となる双葉町中学生海外派遣事業を実施しました。双葉中学校から6

名、その他の避難先の中学校から8名、計14名の中学生が現地の学校での交流やホームステイなどを通してニュージランドの自然や文化に触れ、様々な経験を積んで見聞を広めてまいりました。

― 県民スポーツ相双地域大会 ―

8月7日は、県民スポーツ相双地域大会が南相馬市で開催されました。双葉町からは壮年ソフトボールと9人制バレーボールに出場し、9人制バレーボールは見事優勝、壮年ソフトボールも準優勝を勝ち取りました。

― 海岸災害復旧工事着工式 ―

8月9日は、東日本大震災の津波で被災した防潮堤などの双葉町海岸災害復旧工事の安全祈願祭、着工式が現地で行われました。今回、海岸防潮堤の整備により津波被害のリスクが大幅に低減されるなど、今後の町の復旧復興に弾みがつくものと思われまます。事業は平成30年度の完成を目指し福島県が整備を進めてまいります。



― 町立学校関係 ―

8月25日、町立幼稚園・小・中学校の2学期が始まりました。2学期から幼稚園児1名、小学生1名、中学生1名が増え、園児児童生徒数は39名となりました。

― (仮) 双葉インターチェンジ 説明会 ―

8月27日はいわき市で、28日は郡山市で地権者等を対象とした「(仮)双葉インターチェンジの整備に係る詳細設計等説明会」を開催いたしました。

― 復興まちづくり関係 ―

9月6日、独立行政法人都市再生機構と「双葉町内復興拠点の整備等の復興まちづくりの推進に向けた覚書」を締結いたしました。

この覚書は、町が行う復興まちづくりに関する計画、調査、設計等に関し、独立行政法人都市再生機構から技術的な助言及び提案、ノウハウの提供その他の技術的支援を受けるために取り交わしたものであり、これにより、双葉町の復興拠点整備等の一層の加速化を図ってまいります。

― 野生動物の駆除対策 ―

双葉町内のイノシシなどの野生動物の駆除対策につきましては、8月末までにイノシシが36頭、アライグマ17頭、ハクビシン16頭が捕獲されています。今後も、環境省福島県と協力しながら、継続的な駆除を実施してまいります。

1 町の復興に向けた取り組み

町の復興に向けた取り組みについてありますが、「復興まちづくり計画(第二次)」を策定するにあたり、町民の皆さんのご意見を計画に反映させるため、町民委員を主体とする双葉町復興町民委員会を6月24日に開催いたしました。

特に、今回の委員会には、第一次計画の2本の柱である「町民一人ひとりの復興」と「町の復興」に対応する形で、「人の復興部会」と「町の復興部会」を設置し、これまで2回ずつ開催した議論を行ったところであります。

部会での議論に先立ち、役場の係長クラスの中堅・若手職員で組織する「復興まちづくり計画推進会議幹事会」を開催し、「JR双葉駅東側・まちなか再生ゾーンの整備イメージ」と「双葉町内における役場機能回復のあり方」について検討を行い、有識者会議での議論を踏まえ、副町長と全課長で構成



する「復興まちづくり計画推進会議」で、課題の整理と素案の検討などを行っております。

今後は、政府の決定した帰還困難区域の取扱い方針等を踏まえつつ、復興町民委員会により具体的な検討を行い、年内までに復興まちづくり計画(第二次)の策定を行っていく考えであります。

1 アークイブ拠点施設

アークイブ拠点施設についてですが、6月22日、内堀福島県知事に対し、当町の中野地区復興産業拠点への立地要望を行いました。これを受け、8月29日に県の新生ふくしま復興推進本部会議において、要望どおり当町へのアークイブ拠点施設整備が決定されました。

アークイブ拠点施設へ多くの人が訪れることは、一般の複合災害によって最も深刻な被害を受けた町の一つである当町の復興加速化に資するものであると考えておりますので、今後、県には、町と十分に協議しながら、一般の未曾有の複合災害の情報発信拠点にふさわしい施設を整備するよう求めています。

1 復興公営住宅

復興公営住宅の第4期追加募集までの入居決定状況につきましては、7月末現在、県内31カ所の復興公営住宅で、238戸、372人となっております。このうち、勿来酒井地区につきましては、全体整備計画戸数180戸のうち、

第4期追加募集を行った木造戸建住宅72戸に対して55戸の入居が決定しております。今後も引き続き、県とも連携して復興公営住宅への入居促進に取り組んでまいります。

なお、いわき市勿来酒井地区の基盤整備工事については、7月末現在の進捗率が23パーセントになっているとの報告を受けております。



1 原子力損害賠償

原子力損害賠償の状況につきましては、双葉町弁護士団への依頼件数が、本年8月末現在、延べ281世帯717人となっております。また、仮払金から本賠償請求を行っている方ない方の人数は本年8月末現在で48人となっております。本年1月末の61人と比較して、13人減少しております。引き続き、請求手続きで課題を抱えている方を支援するとともに、未請求者の皆さんの賠償請求についても、周知を進めてまいります。

1 帰還困難区域政府方針

8月31日に示された、「帰還困難区域の取扱いに関する考え方」の政府基本方針につきましては、双葉町は町域の96パーセントが帰還困難区域であり、その取扱いが町の行く末に直結するものであります。今回示された政府方針自体は、政府としての基本的な考え方、大まかな方向性を示したただけのものでありますので、今後、町の考えを国にしっかりと伝えながら、早急に自身の詳細を国に詰めさせたいと考えております。

1 一時立入り休憩施設利用開始

これまで内装・設備等の改修を進めてきた双葉町コミュニティセンターの工事が終了し、双葉町の帰還困難区域内公共施設としては初めてとなる町内への一時立入り者休憩施設として、9月10日より利用が可能となりました。



町政懇談会の開催について

町民の皆さまには、東日本大震災並びに福島第一原子力発電所の事故から5年半が経過した今も、将来への様々な不安を抱えながら、避難生活を送られていることと思います。

このような中、双葉町は、町の復旧・復興と町民の皆さまの生活再建などの課題に全力を挙げて取り組んでいるところです。

今回、町政全般について、町民の皆さまの率直なご意見やご要望等をお伺いしたく、下記のとおり町政懇談会を開催いたしますので、ご出席くださいますようお願いいたします。

平成28年度 町政懇談会 日程

月 日	時 間	場 所
10月14日(金)	10:00～12:00	① いわき市 いわき市中央公民館 1階大講議室 いわき市平字堂根町1-4 ☎0246-22-5431
10月20日(木)	10:00～12:00	② 南相馬市 南相馬市市民情報交流センター 2階大会議室 南相馬市原町区旭町二丁目7番地の1 ☎0244-23-7796
	15:00～17:00	③ 宮城県 仙台市 戦災復興記念館 展示ホール 宮城県仙台市青葉区大町二丁目12番1号 ☎022-263-6931
10月21日(金)	10:00～12:00	④ 福島市 福島県青少年会館 第1研修室 福島市黒岩字田部屋53-5 ☎024-546-8311
	15:00～17:00	⑤ 郡山市 ビックパレットふくしま 1階マルチパーパスルーム2 郡山市南2丁目52番地 ☎024-947-8010
10月28日(金)	10:00～12:00	⑥ 茨城県 つくば市 つくばイノベーションプラザ 大会議室 (旧つくばサイエンスインフォメーションセンター) 茨城県つくば市吾妻1丁目10-1 ☎029-852-6789
	15:00～17:00	⑦ 埼玉県 加須市 加須文化・学習センター (パストラルかぞ) 1階展示室 埼玉県加須市上三俣2255 ☎0480-62-1221
10月29日(土)	10:00～12:00	⑧ 千葉県 千葉市 千葉市生涯学習センター 3階特別会議室 千葉県千葉市中央区弁天3丁目7番7号 ☎043-207-5811 ※会場へは公共交通機関をご利用ください。
	14:00～16:00	⑨ 東京都 全国町村会館 2階第3会議室 東京都千代田区永田町1丁目11-35 ☎03-3581-0471 ※会場へは公共交通機関をご利用ください。
10月30日(日)	9:30～11:30	⑩ 新潟県 柏崎市 柏崎市文化会館アルフォーレ 大会議室 新潟県柏崎市日石町4番32号 ☎0257-21-0010
11月18日(金)	14:00～16:00	⑪ 栃木県 宇都宮市 栃木県宇都宮産業展示館 (マロニエプラザ) 2階大会議室 栃木県宇都宮市元今泉6丁目1-37 ☎028-664-2266
11月19日(土)	10:00～12:00	⑫ 会津若松市 会津大学 中講義室M10 会津若松市一箕町鶴賀字上居合90 ☎0242-37-2500
	15:00～17:00	⑬ 白河市 白河市産業プラザ人材育成センター 1階研修室 白河市中田140番地 ☎0248-21-7361
11月26日(土)	10:00～12:00	⑭ いわき市 双葉町いわき事務所 2階大会議室 いわき市東田町2丁目19-4 ☎0246-84-5202

双葉町の人事行政の運営等の状況の公表

双葉町における「人事行政の運営等の状況」を条例に基づきお知らせ致します。

1. 職員の任免及び職員数に関する状況

(1) 採用候補者試験・職員選考の実施状況(平成27年度実施)

区分	申込者数			第1次試験受験者数(A)			第1次試験合格者数			最終合格者数(B)			競争率(倍) (A)/(B)
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
行政職	11	4	15	10	4	14	8	2	10	5	2	7	2.0
土木職	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	*
建築職	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	*
保健師	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	*
幼稚園教諭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	*
合計	11	4	15	10	4	14	8	2	10	5	2	7	2.0

(2) 職員の退職の状況(平成27年4月1日~平成28年3月31日)(単位:人)

人数	定年退職	普通退職	死亡退職	懲戒免職	計
	1	7	0	0	8

(3) 職員の定数の状況(平成28年4月1日現在)(単位:人)

部局	定数	職員数	差引
町長事務部局	84	78	▲6
議会事務部局	2	2	0
農業委員会事務部局	1(1)	1(1)	0
教育委員会事務部局	15	11	▲4
選挙管理委員会事務部局	(3)	(3)	(0)
監査委員事務部局	(2)	(2)	(0)
合計	102 (6)	92 (6)	▲10 (0)

(注) 教育長、通年雇用職員は含みません。()内は兼務職員数です。

(5) 国との給料月額の水準比較(ラスパイレス指数)の状況

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
一般行政職	94.6	—	102.2	102.7	95.4	95.5

(注) 「ラスパイレス指数」は、国家公務員の給料を100とした場合の町職員の給与水準を示したものです。
なお、平成23年度は、震災の影響により算出しておりません。

(4) 部門別職員数の状況(各年4月1日現在)(単位:人)

区分 部門	職員数		対前年比 増減数	
	平成27年	平成28年		
一般行政	議会	2	2	0
	総務	48	49	1
	税務	5	5	0
	農林水産	2	3	1
	商工	1	1	0
	土木	5	6	1
	民生	6	6	0
	衛生	8	7	▲1
	計	77	79	2
教育	11	12	1	
一般行政+教育	88	91	3	
特別会計	下水道	1	1	0
	その他	3	3	0
	計	4	4	0
合計	92	95	3	

(注) 教育長、通年雇用職員は含みます。

2. 職員の勤務時間、勤務条件及びサービスの状況

(1) 職員の勤務時間(平成28年4月1日現在) <標準的なもの>

1週間の勤務時間	開始時間	終了時間	休憩時間	休憩時間
38時間45分	8:30	17:15	廃止	12:00~13:00

(2) 年次有給休暇の取得状況(平成27年1月1日~平成27年12月31日)

年度	総付与日数(日)	総使用日数(日)	全対象職員数(人)	平均使用日数(日)	取得率(%)
平成27年度	2,787	687	79	8.7	24.7%
平成26年度	2,573	612	73	8.4	23.8%

(3) 時間外勤務及び休日勤務等の状況(平成27年4月1日~平成28年3月31日)

年度	時間外・休日勤務総時間	職員一人あたりの平均時間
平成27年度	7,111時間	103時間
平成26年度	11,720時間	156時間

(注) 特別職、管理職は除く

(4) 育児休業の状況(平成27年4月1日~平成28年3月31日)(単位:人)

	男性	女性
新たに育児休業を取得した者	0	0
前年度から引き続いている者	0	0

3. 職員の分限及び懲戒処分の状況

(1) 分限処分者数(平成27年4月1日~平成28年3月31日)

処分事由	降任	免職	休職	降給	計
勤務実績が良くない場合	0	0	0	0	0
心身の故障の場合	0	0	0	0	0
職に必要な適格性を欠く場合	0	0	0	0	0
職制、定数の改廃、予算の減少により廃職、過員を生じた場合	0	0	0	0	0
刑事事件に関し起訴された場合	0	0	0	0	0

(注) 地方公務員法第28条第1項及び第2項

(2) 懲戒処分者数(平成27年4月1日~平成28年3月31日)

処分事由	戒告	減給	停職	免職	訓告	嚴重注意	計
法令、条例等に違反した場合	0	0	0	0	0	0	0
職務上の義務に違反し、又は職務を怠つた場合	0	0	0	0	0	0	0
全体の奉仕者たるにふさわしくない非行のあった場合	0	0	0	0	0	0	0

(注) 地方公務員法第29条第1項

4. 職員の服務の状況 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(単位：人)

区分	内容	地方公務員法	違反者数
服務の宣誓	職員は、条例の定めるところにより、服務の宣誓をしなければならない	第31条	0
命令に従う義務	職員は法令に従い、かつ、上司の職務命令にしたがわなければならない	第32条	0
信用失墜行為の禁止	職員は職の信用を傷つけ、又は職の不名誉になるような行為をしてはならない	第33条	0
秘密を守る義務	職員は職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする	第34条	0
職務に専念する義務	職員は勤務時間中、職務に注意力の全てを用い、職務にのみ専念しなければならない	第35条	0
政治行為の制限	職員は政党その他の政治的団体の結成に関与するなど、政治活動等をしてはならない	第36条	0
争議行為等の禁止	職員はいわゆるストライキ等をしてはならない	第37条	0
営利企業等従事制限	職員は任命権者の許可なく、営利を目的とする私企業を営み、又は報酬を得ていかなる事業にも従事してはならない	第38条	0
合計			0

5. 職員の研修状況

(1) 研修の状況 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

研修・講座名	研修場所(主催)	実施年月	実施日数	受講者数
新規採用職員前期研修	ふくしま自治研修センター	平成27年4月～5月	5日	6名
新規採用職員後期研修	ふくしま自治研修センター	平成27年10月～11月	5日	5名
計				

6. 職員の福祉及び利益の保護の状況

(1) 健康診断の状況 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

健康診断の種類	受診者数(人)
胃がん	47
血圧測定	87
心電図検診	74
眼底検査	73
尿検査	86
大腸がん検診	63
血液検査	87
胸部X線検査	87
腹囲測定	74
聴力検査	87
前立腺がん検診	24
人間ドック	27
脳ドック	30
子宮がん予防検診	10
乳がん予防検診	10
延べ受診者数	866

7. 勤務条件に関する措置の要求の状況

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

継続件数	措置要求件数
0	0

(注) 地方公務員法第46条の規定に基づく職員の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する措置の要求

8. 不利益処分に関する不服申立の状況

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

継続件数	不服申立件数
0	0

(注) 地方公務員法第49条の2第1項の規定に基づき、職員の懲戒その他その意に反する不利益な処分に対する審査請求又は異議申立て

(2) 職員健康増進事業 (平成27年度分)

事業名称	受診者数・受講者数
ストレスチェック(計2回)	全職員
個別面談(計2回)	全職員
共済組合メンタルヘルスセミナー(管理職・衛生管理者・人事担当者向け)	2名
地方公務員災害補償基金メンタルヘルスセミナー	37名
メンタルヘルス研修会	1名
福島県産業保健総合支援センターメンタルヘルス対策(法令編)研修会	1名
市町村派遣職員等メンタルヘルス研修	1名
市町村衛生管理者協議会総会及び研修会	2名

双葉町 復興支援員の紹介

8月17日より復興支援員として上遠野佳苗さんかとおのかなえが勤務しています。



8月17日から双葉町復興支援員として勤務させていただくことになりました上遠野佳苗（かとおのかなえ）です。

主にタブレットを通じた映像配信や取材などを担当させていただきます。

私は生まれてからの21年間、いわき市で過ごしてきました。

東日本大震災の時、私は中学校の卒業式を終えた直後でした。その後、高校生活を送る中で双葉町や大熊町、富岡町などから避難してきた友人たちからそれぞれの故郷のお話を聞きました。そして高校を卒業し、前職の接客、サービス業に従事した時に、避難を余儀なくされ、いわき市

に移り住む事となった方々からお話をお聞きする機会があり、その度に胸が締め付けられる思いでいっぱいになりました。

こういった体験から、私も避難してきた方々の役に立てるようになりたい、力になりたいと思います、復興支援員として働きたいと考えました。

接客業で培ってきたコミュニケーション力や対応力を十二分に活かして、双葉町の皆さま、そして、震災の影響で苦しむ方々のお力に少しでもなれますよう、精一杯務めさせていただきます。

皆さまとどこかでお会いした時はぜひともお声がけいただけるとうれしいです。

社会にも出たばかりと云うことで、まだまだ未熟者ではありますが、何卒よろしくお願います。

百歳賀寿 おめでとう ございます。



9月11日、守家たけのさん（鴻草）がめでたく満百歳を迎えられました。

『ニュースふたば』配信のお知らせ

8月15日から、町の話者を動画でお伝えする「ニュースふたば」が配信となりました。この番組では、双葉町の復興の進捗状況や町民の皆さんの暮らしに関するお知らせ、自治会や町民グループの活動の様子などを動画で分かりやすくお伝えします。

ニュースふたばは、町で配布しているタブレットや町公式ホームページからご覧になれます。町民の皆さんの「知りたい」をお伝えできる番組にしていきたいと思っておりますので、ぜひご覧ください。

また、自治会や町民グループの活動の様子など、皆さんからの情報提供も大歓迎ですので、ニュースふたばでお知らせしたい情報がありましたら下記問い合わせ先までご連絡ください。

毎月
15日配信



【問い合わせ先】 秘書広報課 ☎ 0246-84-5202
ふたさぼ映像制作チーム ☎ 080-2839-9345

行政相談週間

10月17日（月）から23日（日）までの1週間は「行政相談週間」です。

行政相談は、役所（国、県及び市町村）や特殊法人等の仕事に関して、苦情や困っていること、心配なこと、分からないこと、要望したいことなどについて相談に応じ、その解決をお手伝いするものです。

期間中は、県内の応急仮設住宅等で相談を行う予定です。

相談は無料で、相談者の秘密は固く守られます。

【問い合わせ先】
福島行政評価事務所 ☎ 024-534-1101

総務省では、双葉町を担当する行政相談委員として、次の方を委嘱しています。



双葉町の行政嘱託員
倉田 均さん（長塚一）白河市在住



平成28年度 プール活動より

平成29年度 幼稚園児募集

—ふたば幼稚園入園のご案内—

双葉町では、町立ふたば幼稚園の平成29年度園児を募集します。多くの園児の姿が見られることを心待ちにしております。

◆入園資格

3歳児	平成25年4月2日～平成26年4月1日に生まれた幼児
4歳児	平成24年4月2日～平成25年4月1日に生まれた幼児
5歳児	平成23年4月2日～平成24年4月1日に生まれた幼児

◆幼稚園所在地

福島県いわき市錦町御宝殿56

◆経費

- 入園料：3,000円
※幼稚園就園奨励費補助金により、補助いたします。
- 授業料：4,000円
※町民の方は条例により、免除となっています。
- その他：給食・教材費等徴収します。
※幼稚園給食費等補助金により、補助いたします。

◆入園申し込み期間

10月3日(月)から10月31日(月)まで
午前8時30分から午後5時15分まで
※11月1日以降も随時入園申し込みの受付をいたします。

◆受付場所

教育委員会教育総務課

◆郵送による受付

別紙「入園申請書」に記入・押印の上、添付の返信用封筒にてご返信ください。なお、申請書は町ホームページよりダウンロードすることもできます。

【問い合わせ先】

教育委員会 教育総務課 ☎0246-84-5210



9月2日、鈴木淳一福島県教育長の町立学校仮設校舎を訪れ、小中学校の授業を参観された後、各校長先生方と懇談を行いました。

県内でも導入している学校は少ないICT機器を使った1年生の国語の授業や2・3年生の音楽の授業を参観され、少人数教育の良さを生かした授業の雰囲気と、子どもたちの積極的な授業に取り組む姿に大変関心されていました。鈴木教育長は終始にこやかな表情で参観し、時に優しく声を掛けられる場面もあり、子どもたちは緊張しながらもしっかりと質問に答えていました。



また、中学校では道徳の授業として人権や難民問題についての授業が行われており「素晴らしい授業ですね」と話されました。

引き続き、各校長先生方との懇談が行われました。

校長先生からは「少人数ではあるが、心のケアなどが重要だと思っている」「子どもたちに寄り添う教育活動をしていきたい」などの話があり、それに対し鈴木教育長は「子どもたちが、震災の経験があったからこそ今があると思えるような教育を、県をあげて行っていきたい」と答えられました。

福島県教育長が 町立学校仮設校舎を訪問



双葉町内に ガソリンスタンドが 再オープン!

町内の国道6号沿いにあるガソリンスタンド（田中合名会社）が、9月12日に双葉町内において事業を再開しました。帰還困難区域内のガソリンスタンドとしては初めてとなる事業再開です。町内の店舗に灯りが点いたことは、双葉町にとって大変うれしい話題です。

町民の皆さんの一時帰宅等の際に便利になることと思いますので、ぜひご利用ください。

営業時間：午前7時から午後4時30分

渋川行政区からのお知らせ

渋川行政区長 朝川 洋一

渋川大字総会・交流会を下記により開催しますのでご参加ください。

○日 時… 10月29日(土)～30日(日) 1泊2日
総 会… 午後4時～
交流会… 午後6時～

○場 所… 磐梯熱海温泉 ホテル華の湯
郡山市磐梯熱海5-8-60
☎024-984-2222

【申し込み先】

朝川 洋一 ☎090-6257-2318

参加お待ちしております!

下羽鳥地区からのお知らせ

羽鳥行政区長 阿部 利一

下羽鳥地区総会・交流会を下記により開催しますのでご参加ください。

○日 時… 10月22日(土)～23日(日) 1泊2日
総 会… 午後3時～
交流会… 午後6時～

○場 所… 磐梯熱海温泉 ホテル華の湯
郡山市磐梯熱海5-8-60
☎024-984-2222

○参加費… 宿 泊：18,000円程度
(当日徴収します)

○申込締切… 10月15日(土)

【申し込み先】

木幡 敏郎 ☎090-7522-9610
埼玉県上尾市上尾村592 富永様方

第10回 市町村対抗福島県軟式野球大会 結果のお知らせ

9月11日、福島市のあづま球場において第10回市町村対抗福島県軟式野球大会が開催されました。

双葉町は新地町と対戦し、惜しくも0対2で敗れてしまいましたが、固い守りと若さ溢れるはつらつとしたプレーで、応援に駆け付けた方々を盛り上げてくれました。

若い選手が多いチームのため、来年の大会が期待されます。選手の皆さん、お疲れ様でした。



<お詫びと訂正> 9月号に掲載しました選手名簿に誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

誤 6.小林 康弘 → 正 6.小林 義弘

皆さんの応援よろしくお願いします!

第3回 市町村対抗福島県ソフトボール大会

- 開会式：10月15日(土) 午前9時30分～ 相馬光陽ソフトボール場(相馬市)
- 試合：10月16日(日) 午前9時～ 同会場 C球場
- 対戦相手：国見町



＜選手名簿＞ 敬称略			
榎内 宏(監督)	加藤 秀樹	笠原 真一	石井 智明
天野 錦二(主将)	新野 泰弘	高野 慎哉	加藤 克美
大谷内 俊	山本 剛	鶴沼 浩二	橋本 仁
吉田 佳次	石上 崇	佐藤 祐司	渡辺 浩美
木幡 和清	伊澤 亮	門馬 雄介	鈴木 健一
高萩 文孝	加藤 裕樹	石澤 拓也	
井戸川 義広	押田 寿	青田 隆志	

双葉ふれあいクラブ からのお知らせ

天栄村羽鳥湖高原・レジーナの森 双葉町民トレッキング参加者募集

- ◇実施日：11月5日(土) 小雨決行
- ◇募集人数：45人(大型バス利用)
- ◇コース：天栄村羽鳥湖高原・レジーナの森
- ◇昼食：各自持参または道の駅羽鳥湖食堂
- ◇参加費：500円(保険代含む)
- ◇申込締切：10月28日(金)

行程

7:30 いわき市JR植田駅出発	12:50～14:00 レジーナの森
9:15 郡山駅西口	14:00 出発
9:30 開成山競技場駐車場(郡山市体育館前)	14:40 白河郭内応急仮設住宅
10:20 白河市郭内応急仮設住宅	15:30 開成山競技場駐車場
11:00 道の駅羽鳥湖高原着	15:45 郡山駅西口
12:00～12:40 昼食(道の駅羽鳥湖高原)	17:30 いわき市JR植田駅着

【申し込み先】 双葉ふれあいクラブ事務局(高野)
☎ 0246-38-3325
FAX 0248-21-6188

- 保険に入りますので氏名・住所・連絡先をお知らせください。
- 歩ける服装で参加願います。また雨具の準備もお願いします。
- 交通事情により時間の変動があります。

双葉町スポーツ振興補助金について

この補助金は、県代表としてアマチュアスポーツ大会に出場するときにかかる経費の一部を補助するものです。該当する方は下記までご連絡ください。

① スポーツ大会派遣補助金

- 対象者：スポーツ少年団加盟者(選手及び指導者)
- 対象大会：日本スポーツ少年団主催の大会及び各ブロック大会
- 補助額：宿泊料金の一部

② スポーツ大会派遣激励金

- 対象者：町民(監督、コーチ及び選手として登録されている方)
- 対象大会：各ブロック大会
- 補助額：1人10,000円

【問い合わせ先】 双葉町教育委員会 教育総務課 ☎ 0246-84-5210



ふるさとへの
想いをつなぐ

夏祭り・盆踊り



7月22日(金)
県北ふたば会



8月11日(木・祝)
つくば自治会
盆踊り



8月13日(土)
夢ふたば人盆踊り大会(南台仮設)





8月14日(日)

埼玉自治会盆踊り大会

8月20日(土)

県南双樹会盆踊り大会

地元の方も
参加しました！



8月27日(土)

県中地区自治会盆踊り

ふるさとを想いながら、相馬盆歌や双葉音頭、模擬店、カラオケ大会など、各地区において工夫を凝らした夏祭りや盆踊り大会が盛大に開催されました。双葉町への想いを込めて、大人も子どもも一緒に輪になって踊りました。

南相馬市での総合健診実施について

台風10号のため延期してありました南相馬市での総合健診は、以下の日程・会場で実施することになりました。健診にお申し込みいただいていた方、延期のご連絡をした方には通知します。大腸がん検診をお申し込みいただいた方には、検査容器をお送りします。

また、双葉町が福島県内で実施する他の地域での総合健診会場で受診することも可能です。お手元の受診録を会場にお持ちください。

現在お手元に受診録がなく受診を希望される方は、いわき事務所健康福祉課にお申し込みください。

健診日：平成28年10月24日(月)

受付時間：9:00～11:00

会場：原町生涯学習センターサンライフ南相馬（南相馬市原町区小川町322-1）

双葉町特定疾患患者 見舞金支給事業のお知らせ

双葉町では、指定難病患者、小児慢性特定疾病患者の保護者及び人工透析療養者に対し、福祉の増進を図るため、見舞金を支給しております。

受給資格のある方は、双葉町に住所を有する本人または小児慢性特定疾病患者の場合、本人と生計を共にする保護者です。

見舞金の受給には申請が必要となりますので、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

上記の内容についてのお問い合わせは下記までお願いします。

【問い合わせ先】 健康福祉課 健康づくり係 ☎ 0246-84-5205

双葉町国民健康保険からのお知らせ (社会保険に加入された方へ)

平成28年10月1日から短時間労働者の社会保険等の適用範囲が拡大され、これまで社会保険等が適用されていなかった方も、社会保険等の加入対象となる場合があります。

国民健康保険にご加入の方で、新たに社会保険へ加入された方は、国民健康保険の資格喪失手続きをご自身で行う必要があります。社会保険に加入しても、国民健康保険の資格喪失の手続きは自動では行われません。手続きが遅れますと、医療費の返還等の不利益を被ることがありますので、忘れずに手続きを行ってください。

国民健康保険の資格喪失の手続きは、「[国民健康保険被保険者異動届](#)」に記入・押印のうえ、[国民健康保険を喪失する方全員分の新しい保険証のコピー](#)・[国民健康保険の保険証](#)・[免除証明書](#)を添付して、下記まで提出してください。郵送でも手続きすることができます。

また、国民健康保険の保険証を使用して受診している医療機関がある場合は、窓口で保険証の変更をお伝えください。社会保険に関する詳しい内容は、お勤めの会社・事業所等へご確認ください。

【問い合わせ先】 健康福祉課 国保年金係 ☎ 0246-84-5205

県民健康調査 「妊産婦に関する調査」について

福島県と福島県立医科大学では、福島県内の心配を抱えた妊産婦の皆さんへのサポートを提供すると同時に、ご意見やご要望を把握し、よりよい産科医療及び育児支援を提供できるよう妊産婦に関する調査を行っています。

平成28年度も引き続き調査を実施しますので、ご協力をお願いいたします。平成27年度調査につきましても、未提出の方はご回答をお願いいたします。

〈平成28年度調査のご案内〉

時期：平成28年11月頃

対象となります方には調査票をお送りいたします。また、福島県外で母子健康手帳を交付された方には、産科医療機関から調査票の配布をお願いしています。

妊娠・出産・育児全般に関する電話相談窓口を設けていますので、ぜひご活用ください。(下記電話番号)

【問い合わせ先】

福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター
妊産婦専用ダイヤル ☎ 024-549-5180

(平日9時から17時)

健診結果の活用について

健康診断を受けた後、町や医療機関から渡された健診結果を活かしていますか？

健診結果をかかりつけ医に見せて、今後の治療等に活かしている方もいると思いますが、チラッと眺めただけで封筒に戻してしまい、他の郵便物と一緒に本棚などに仕舞い込んでいらっしゃる方もおられるかもしれません。

今は自覚症状がなくても、目に見えないかたちで身体がサインを出していることがあります。特に生活習慣病は、長期にわたって自覚症状がほとんどなく、気づいたときにはかなり悪化していることが多いものです。

せっかく受けた健診を無駄にせず、今後の生活に活かしてください。

主な検査項目と検査数値の予防・改善のためのポイント

町が実施する総合健診の検査項目のうち、主な検査項目と検査数値の予防・改善のためのポイントをお伝えします。

なお、それぞれの検査項目には基準値がありますが、検査機関によって基準値が異なるため、お手元の結果通知をご覧ください。

検査項目	どんな病気になるのか	予防・改善のための取り組み
肥満 (BMI・腹囲)	<ul style="list-style-type: none"> 肥満症 生活習慣病(糖尿病・高血圧・高尿酸血症等) 	<ul style="list-style-type: none"> 『一日三食』と『腹八分目』を心掛ける。 間食を控えて、夜食をしない。 普段から身体を動かすことを心掛ける。
血圧	<ul style="list-style-type: none"> 高血圧 	<ul style="list-style-type: none"> 塩分をとり過ぎない。 緑黄色野菜をよく食べる。 適度に運動する。 食事もお酒もほどほどに。
糖代謝 (HbA1c・血糖値)	<ul style="list-style-type: none"> 糖尿病 	<ul style="list-style-type: none"> 『一日三食』と『腹八分目』を心掛ける。 有酸素運動(ウォーキング等)を一日30分、週に三回以上おこなう。
脂質 (HDLコレステロール・LDLコレステロール・中性脂肪)	<ul style="list-style-type: none"> 脂質異常症 動脈硬化 	<ul style="list-style-type: none"> 日々の生活に運動を取り入れる。 肉や卵を控え、魚や大豆製品を食べる。 野菜や海草を積極的に食べる。 食事もお酒もほどほどに。
肝機能 (AST・ALT・γ-GT)	<ul style="list-style-type: none"> 肝機能障害 肝硬変 	<ul style="list-style-type: none"> お酒をほどほどに。 脂肪の多い物を食べすぎない。 規則正しい生活を心掛ける。
腎機能 (血清クレアチニン)	<ul style="list-style-type: none"> 腎不全 	<ul style="list-style-type: none"> 塩分をとり過ぎない。 適度に運動する。 禁煙する。

健診結果の活用法のポイント

1 続ける	それぞれの検査項目の値がどのように推移しているのかをチェックして、自分の身体の変化を確認しましょう。
2 伝える	治療中の病気があり、かかりつけ医がいる場合には、健診結果を伝えて共有することをお勧めします。
3 つなげる	「要指導」となった検査項目を放置することが、将来の大きな病気の可能性を高めることがあります。生活習慣の改善が検査結果の改善につながるため、自分でも取り組むことができそうな事柄から、少しずつ生活習慣の改善に取り組みましょう。

健診結果を生活習慣の改善や治療につなげてこそ、健診を受けた意義があります。毎年定期的に健診を受け、検査値の変化に注意を払い、病気の予防や早期発見につなげてください。

健康コラム ウォーキングを 始めてみませんか

「最近、体力が落ちたなあ」、「おなかまわりが太ってきたなあ」と感じたことはありませんか？
涼しくなると人の体は、体温を上げるためにエネルギーを使います。夏が終わり、だんだん代謝が上がって、更なる時期に運動を始められると、更に代謝が上がるので、効果が出やすくなります。

◇ウォーキングの特徴は

- ・有酸素運動で体脂肪が燃焼される。
- ・手軽に、マイペースで無理なく続けられる。
- ・心臓や膝、腰への負担が少ない。

◇どのくらい歩くと効果的

1回20分程度、週3回以上行うことがよいとされています。

短時間のウォーキングの積み重ねでも脂肪燃焼効果があります。少しでも歩く習慣が大切です。

◇おすすめの靴



歩くためには、足や体に負担がかからないような靴選びが大切です。次のような靴がおすすめですが、ご自分の足の形やサイズに合ったものが一番です。
・軟らかく、通気性が良いもの。
・つま先にはゆとりがあり、ひもで足にしっかりと固定できるもの。
・かかとをしっかりと覆い、体重をしっかりと支えられるもの。

将棋クラブのメンバーを募集しています

今年4月からふたば一くで活動している将棋クラブは今月で半年を迎えました。こちらのクラブは、双葉町民はもちろん、近隣にお住まいの方など、どなたでも参加できる交流の場として毎月活動しています。

毎回様々な方と対局ができますので、これから覚えたいという方、昔はやっていただけ…という方も腕を磨くことができます。

毎月第4火曜日は将棋の日！みなさんお誘い合わせのうえ、お気軽にご参加ください。事前申し込み不要です。

【日 時】

平成28年	10月25日(火)	10:00 ? 14:00
	11月22日(火)	
	12月27日(火)	
平成29年	1月24日(火)	
	2月21日(火)※	
	3月21日(火)※	

※平成29年2月、3月は第3火曜日の開催となります。

【場 所】ふたば一く

いわき市錦町作鞍80番5 東邦銀行植田支店錦出張所内
(代表 坂本昌彦)



△問い合わせ先▽

健康福祉課 健康づくり係
☎0246-184-15205



- ・底は滑らず、衝撃を吸収できるもの。
 - ・指の付け根あたりで曲がりやすいもの。
- ◇歩く姿勢で効果アップ
まず、きれいな姿勢で立ちましよう。肩の力を抜き、背筋を伸ばして、おなかを引き締めましよう。
歩くときは、目線はまっすぐ前に向けて、かかとから親指の付け根に移動するように着地して、リズムよく歩きます。歩幅をいつもより広めに歩くと、より多くの筋肉が使われ脂肪燃焼効果がアップします。
ぜひ、普段の生活にウォーキングを取り入れてみましょう。

いわき大交流フェスタ開催

10月22日、いわき市の平体育館、平市民運動場においていわき大交流フェスタが開催されます。いわき市民の皆さんやいわき市へ避難している各町村の皆さんと交流できるイベントとなっていますのでぜひ足を運んでください。なお、双葉町からも以下の方々に参加します。

○日時: 10月22日(土)
10:00~15:00

○場所: 平体育館及び平市民運動場

【双葉町からの参加】

- 双葉町相馬流れ山踊り保存会
(相馬流れ山踊りの披露)
13:50~14:05
- いわき・まごころ双葉会
(餅つき体験・お餅のふるまい)
- ふたば茶亭 (お菓子の販売)

皆さんの来場をお待ちしています!

中間貯蔵施設に係る弁護士相談窓口のご案内

中間貯蔵施設の建設に伴い町民の皆さんが抱える不安や諸問題に対応するため、弁護士による相談窓口を設置します。当該施設建設に伴う権利関係等の疑問点について、助言を聞くことができます。

相談できること

中間貯蔵施設に伴う契約、地上権、相続等について

(相談窓口の弁護士は直接価格交渉に関わることはできません)

- ◇ 対象者 双葉町内の中間貯蔵施設建設予定地内の地権者の方
- ◇ 相談料 無料
- ◇ 相談時間 1回につき30分以内
- ◇ 申込方法 事前申し込みになりますので下記の連絡先までご連絡をお願いいたします。

◇ 開催場所及び開催日時

実施場所	開催日	開催時間	所在地
双葉町 いわき事務所	平成28年10月13日(木)	午後2時から午後5時	福島県いわき市東田町2-19-4
双葉町 郡山支所	平成28年10月27日(木)	午後2時から午後5時	福島県郡山市朝日1-20-2

※平成28年11月は、18日(金)、25日(金)に予定しています。

【申し込み・問い合わせ先】

建設課 復旧復興係 ☎0246-84-5209 受付時間 午前8時30分から午後5時15分(平日)

環境省 福島環境再生事務所からのお知らせ ～中間貯蔵施設について～

◇輸送について(9月20日現在)

▶双葉町内中間貯蔵施設保管場の試験輸送の状況は下記のとおりです。

○実施中

[平成28年度の輸送]

双葉町(5月12日開始)・浪江町(6月20日開始)・伊達市(7月8日開始)・福島市(9月5日開始)

[学校等からの輸送]

伊達市(7月30日開始)・二本松市(9月5日開始)・桑折町(9月6日開始)

◇環境安全委員会について

▶9月1日に福島県、双葉町及び大熊町等の委員からなる中間貯蔵施設環境安全委員会(第5回)が開催され、工事や試験輸送の状況等について報告しました。引き続き、安全確保に努めて中間貯蔵施設事業に取り組んでまいります。

◇保管場及び陳場下交差点の放射線監視

▶空間線量率の測定により、除染土壌等の搬入による周辺への影響は見られないことが確認されています。今後もしっかりと安全対策及び放射線の監視を行ってまいります。

▶中間貯蔵施設及び周辺モニタリングの結果については、以下のJESCO(中間貯蔵・環境安全事業株式会社)のHPで公表しております。

(URL) <http://www.jesconet.co.jp/interim/operation/monitoring.html>

【問い合わせ先】福島環境再生事務所 中間貯蔵施設等整備事務所
調査設計課 ☎024-563-1293



双葉町社会福祉協議会

～ 10月健康運動教室、社協サロンのお知らせ～

こころとからだの健康のため、運動不足を解消しましょう。お気軽にご参加ください。

会 場	問合せ・申込先	開催月日	時 間
健康運動教室 （内容：健康講話、相談、運動機能の維持・向上等）			
福島市北幹線第二応急仮設住宅集会所	福島市飯坂町平野内小原田 8-1 ☎ 080-6033-1196（小林）	10月 6日（木） 10月 20日（木） 10月 27日（木）	13:30～15:00
白河市郭内第二応急仮設住宅集会所	白河市郭内 151-29 ☎ 080-6290-5930（廣田）	10月 4日（火） 10月 11日（火） 10月 25日（火）	10:00～11:30
南東北総合卸センター 2階第6会議室	郡山市喜久田町卸 1丁目 1-1 ☎ 024-973-5291（開発）	毎週火曜、水曜日 （祝日除く）	13:30～15:00

社協サロン

（内容：健康講話、相談、趣味、生きがいづくり交流等）

※社協サロンでは昼食を準備致しますので事前に申込みをお願いします。

サンライフ福島	福島市北矢野目字檀ノ腰 6-16 ☎ 024-973-5291（開発）	10月 28日（金）	10:00～14:00
白河市郭内第二応急仮設住宅集会所	白河市郭内 151-29 ☎ 080-6290-5930（廣田）	10月 18日（火）	10:00～14:00
南東北総合卸センター第6会議室	郡山市喜久田町卸 1丁目 1-1 ☎ 024-973-5291（開発）	10月 17日（月）	10:00～14:00

サポートセンターひだまり出張サロン

（内容：健康体操、健康講話、交流会等）

富岡町役場いわき支所多目的集合施設	いわき市平北白土字宮前 8番地 ☎ 0246-38-7105（渡邊）	10月 27日（木）	10:30～14:30
かしま交流センター 2階	南相馬市鹿島区横手字川原 186-1 ☎ 0246-38-7105（渡邊）	11月 1日（火）	10:30～14:30

【問い合わせ先】 双葉町社会福祉協議会 郡山事務所 ☎ 024-973-5291 【担当：開発】

自家消費野菜等の 放射性物質を検査します

双葉町では、いわき事務所や郡山支所など県内8カ所の検査所で自家消費野菜等の放射能簡易検査を実施しています。検査をご希望の方は、下記の申し込み場所へ予約をお願いします。

申し込み場所	予約電話番号
いわき事務所（産業課）	0246-84-5214
郡山支所	024-973-8090

〈検査対象品目〉

- ・避難先の家庭菜園等で栽培された自家消費の野菜等
 - ・飲用水（水道水、販売されているものを除く）
- ※出荷制限及び摂取制限を受けている食品や安全が確認され、流通している食品等は検査対象外です。
※検査目的は、自家消費のための安全確認としております。販売目的での検査は行っておりません。

「未来につなぐ相続登記」 ～ 相続登記はお済みですか～

相続した不動産（土地・建物）についての相続登記（名義変更）は不動産の所在地を管轄する法務局に申請が必要です。相続登記は、登記をしなければ罰せられるというものではありませんが、放置してしまうと次のような問題が発生することが考えられます。

- ・長い間相続登記をせずに放置していたため、相続人が死亡してしまった。相続権のある人が増え、遺産分割の協議がまとまりにくくなる。
- ・所有者と連絡が取れず、災害復旧など緊急性のある工事が遅れる。

**トラブルを未然に防ぐためにも早めに相談し、
相続登記をしましょう。**

【問い合わせ先】 ※登記相談は事前予約制です。
福島地方法務局 富岡出張所 ☎ 0246-35-5670

●福島県司法書士会 <電話による相談>
月～金（除く祝日）午前10時～12時 午後1時～4時
☎ 0120-81-5539

第15回双葉地方広域消防職員意見発表会の開催について

消防職員の「想い」「情熱」を伝えたい。双葉郡を守るため、消防防災をテーマにした新しい発想を、若き隊員たちが提案します。

◆日時：平成28年11月9日(水) 13時30分～15時00分

◆場所：葛尾村 村民会館大ホール

◆発表者：消防職員5名

◇主催：双葉地方広域市町村圏組合消防本部

◇協賛：福島県消防協会双葉支部

◇その他：入場は無料です

【問い合わせ先】

双葉地方広域市町村圏組合消防本部

総務課 ☎ 0240-25-8523

消防署からのお知らせ

【平成27年中の全国の火災状況】

- ① 総出火件数は39,111件です。
- ② 火災による死者は1,563人、負傷者数は6,309人です。
- ③ ②の中で住宅火災による死者数が914人です。
- ④ ③の住宅火災による死者の約7割が高齢者です。

これから空気が乾燥し、火災の発生しやすい季節となります。下記に主な出火原因と対策を記載しますので火災予防に御協力ください。

出火原因 第1位 「放火」

～対策～

- ① 家のまわりに可燃物を放置しない。
- ② 自動車やオートバイのカバーは防災品にする。
- ③ センサーライトなどを設置し家の周囲を明るくする。
- ④ ご近所との協力体制が重要です。



出火原因 第2位 「たばこ」

～対策～

- ① ポイ捨てをしない。
- ② 寝たばこをしない。
- ③ 定期的に灰皿内の吸い殻を片付ける。
- ④ 吸い殻を捨てる際は、一度水に浸してから捨てる。



出火原因 第3位 「こんろ」

～対策～

- ① 調理中はその場を離れない。
- ② こんろの周囲に可燃物を置かない。
- ③ 着衣着火を防ぐため、防災品のエプロンを使用する。
- ④ こんろの周囲、グリル内は定期的に清掃する。



平成28年度全国統一防火標語

「消しましょう
その火 その時
その場所で」

火事と救急は
119番

<消防署連絡先>

・浪江消防署 ☎0240-34-7360

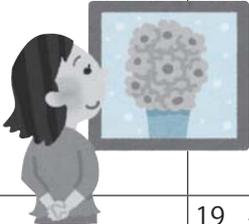
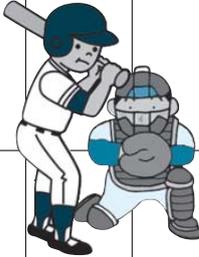
・富岡消防署 ☎0240-25-2119



教育総務課生涯学習係事業開催のお知らせ

10月 生活学級の日程

※婦人学級の予定は、同封のチラシをご覧ください。

日	月	火	水	木	金	土
2	3	4	5 ◆郡山・会津生活学級 ③現地研修 (福島県立博物館) 10:00～	6	7	8
9	10 体育の日 双葉町民ゴルフ大会 サラブレッドカントリークラブ (いわき市) 7:30～	11 	12	13 	14	15 市町村対抗県ソフトボール大会 開会式 相馬光陽ソフトボール場 9:30～
16 市町村対抗県ソフトボール大会 対 国見町戦 相馬光陽ソフトボール場 9:00～	17	18	19 	20	21	22 いわき大交流フェスタ 平体育館及び 平市民運動場 10:00～
23	24	25 双葉町総合美術展 双葉町民作品展覧会 (郡山会場・1日目) 郡山市ビッグアイ(6階展示室) 13:00～17:00	26 双葉町総合美術展 双葉町民作品展覧会 (郡山会場・2日目) 郡山市ビッグアイ(6階展示室) 10:00～15:00	27	28	29 双葉町民作品展覧会 (いわき会場・1日目) いわき市立勿来体育館 9:30～16:30
30 双葉町民作品展覧会 (いわき会場・2日目) いわき市立勿来体育館 9:30～15:30	31 ～ 平成28年度生活学級のお知らせ ～ 平成28年度の3回目の生活学級は、文化財レスキューや震災資料保全にかかわる施設の研修を予定しています。3回目の参加希望の方は申し込みが必要になりますので、教育総務課まで申し込みをお願いします。					

【問い合わせ先】 双葉町教育委員会 教育総務課 生涯学習係 ☎ 0246-84-5210

第18回 福島県市町村対抗ゴルフ大会が開催されました

9月1日、西郷村のグランディ那須白河ゴルフクラブにおいて、第18回福島県市町村対抗ゴルフ大会が開催され、双葉町からは武内裕美さん、高野利彦さん、作田伊久雄さんの3人が双葉町チームとして出場されました。

双葉町チームは震災後初めての参加となり、お互いに声をかけ合いながら良いチームワークで競技を進めていき、51チーム中34位という成績を収めました。残暑が厳しい中、大変お疲れさまでした。





福島県立 ふたば未来学園高等学校 公開文化祭

「双来祭」

日時：10月30日(日) 10:00～14:30

場所：ふたば未来学園高等学校
(双葉郡広野町大字下浅見川字築地12)

テーマは「Enjoying Diversity」。多様性を楽しもうという意味です。文字通りさまざまな色が混じりあった生徒実行委員が企画する本校初の文化祭です。各クラスそれぞれの色を決めての個性あふれる企画や文化部の発表、他にもたくさんのイベントが行われます。「双来祭」にぜひお越し下さい。

【問い合わせ先】

☎ 0240-23-6825 (生徒会担当：佐藤)

双葉の風だより

全国に避難されている皆さんから寄せられた
お便りの一部をご紹介します

初秋雑詠

・ 穂 り 田 に 幾 久 し 心 待 ち し て 初 秋 の 満 月	・ 寄 す る 銀 波 の 山 背 風	・ 朝 顔 の 容 形 も 秋 の 訪 れ 朝 な 夕 な に	・ 遅 咲 き の 朝 顔 の 容 形 も 様 変 り	・ 鮮 や か に 日 毎 に 咲 き し 朝 顔 の	・ 春 の 息 吹 き の 種 を 宿 せ り	・ 那 須 の 初 秋 さ わ や か だ よ と 娘 の 便 り	・ 招 く 湯 煙 り 茶 臼 山 裾
---	---	---	---	---	---	--	---

武内 恒雄 (長塚二)

東京電力ホールディングス株式会社 からのお知らせ

弊社福島第一原子力発電所および福島第二原子力発電所の事故による個人の方の賠償等に係るご相談について、個別の事情等により戸別訪問によるご相談を希望される方につきましては、右記連絡先までご連絡いただきますようお願いいたします。

【連絡先】

東京電力ホールディングス株式会社
福島原子力補償相談室

☎ 0120-926-404

(受付時間：9時～19時) 月～金 (祝日は除く)

(受付時間：9時～17時) 土・日・祝日

※ ご連絡をいただいた際、お近くの窓口をご案内する場合がございますので、その際は個別事情等をお伝えください。その後、弊社担当窓口よりご連絡を差し上げ、ご訪問日時等の調整をさせていただきます。

なお、戸別訪問は基本的に月曜日から金曜日となります。

人のうごき8月分 敬称略

お誕生おめでとうございます

氏名	生年月日	保護者	行政区
吉田 唯吹	7月16日	譲二・里子	三字
松永 埜愛	8月3日	直人・江里子	寺松
志賀 海斗	8月7日	正道・千都子	両竹

お悔み申し上げます

氏名	年齢	死亡日	行政区
小野田 禮常	95	7月25日	新山
中野 恒子	92	8月5日	長塚一
田中 昌	82	8月13日	長塚二
吉田 義雄	89	8月22日	長塚一

双葉町民の避難状況 (平成28年9月1日現在)

- ・ 福島県内に避難されている方 4,071人
- ・ 福島県外に避難されている方 2,891人

※平成23年3月11日時点の住民基本台帳人口から死亡者を引き、出生者と転入者を加えた人口を示しています。

連絡のついた方で、了承の得られた方のみ出生、死亡の方の名前を掲載しています。

なお、掲載を希望しない場合は秘書広報課までご連絡ください。

秘書広報課 ☎ 0246-84-5202

双葉町を忘れない

平成23年3月11日に発生した東日本大震災、そして福島第一原子力発電所の事故により、私たち双葉町民はふるさと双葉町を離れ、今もなお全国に分かれて避難生活を送っています。

先の見えない不安な生活の中で、町民の皆さんが毎日どのような思いで過ごし、ふるさと双葉町への思いを抱き続けているのかを、皆さんの声をお聴きしながら「ふるさと絆通信」として連載していきます。

そして「ふるさと絆通信」を通して、皆さんの双葉町への思いと心の絆がより一層深まることを期待いたします。

記録として次の世代へ ぎずな ふるさと絆通信

第41号



「ふるさと絆通信」であなたの想いを伝えてみませんか。

ふるさと絆通信では、避難されている皆さんへ想いを伝えていただける方を募集しています。避難生活での活動や日々の生活の中で感じていること、ふるさと双葉町への想いをこのコーナーでお話ください。双葉町民の方ならどなたでも結構ですので、ご連絡をお待ちしています。

—想いを伝える—

ふるさと絆通信は、株式会社鹿島印刷所（南相馬市）の記者が町民の皆さんの避難先を訪問し、インタビュー取材をさせていただいています。掲載する文章は、インタビューの内容をもとに記者が作成しますので、インタビューをお受けいただいた方が文章を作成する手間はありません。

【問い合わせ先】 秘書広報課 ☎ 0246-84-5202



ずっと、ふるさと。双葉町。

はせがわ せいいち
長谷川清一さん

まちこ
満智子さん

(羽鳥)



●避難先●
福島県いわき市



妻も山が好きですが、私と違い「山菜採り」です

土曜日に出かける同僚

学校を出てから就職し、千葉県内に職場がありました。その当時（昭和40年代）、土曜日になると、必ずリュックを背負って出勤し、退社時間になるとサツと姿を消す同僚がいました。ある日、その理由について、登山に行っていると聞かされ、何となく興味を持ち、同伴することになりました。昭和42年冬、向かった先は富士山でした。

初登山は「厳冬の富士山」

初めての登山で踏み入れた冬の富士山は、雪と氷に覆われた厳しい姿でした。同僚やその登山仲間たちに、アイゼンでの歩き方やザイルの使い方など冬山登山のイロハを教えてもらい、五合目あたりで雪氷上の行動練習を行い登頂を開始しました。

登山の基本は時代に関わらず変わることはありませんが、携帯電話やスマートフォン、GPSなどが無い時代、現在より、登山は特別な存在でした。同僚をはじめ「登山の先輩方」のサポートを受け、初登山で、厳冬の富士山頂に立ち、目の前にある風景は、真冬の澄んだ空気の中に広がる関東平野や甲府盆地、八ヶ岳連峰や南北アルプスなどの山々が雲海に浮かぶ姿でした。

難関登りからは卒業

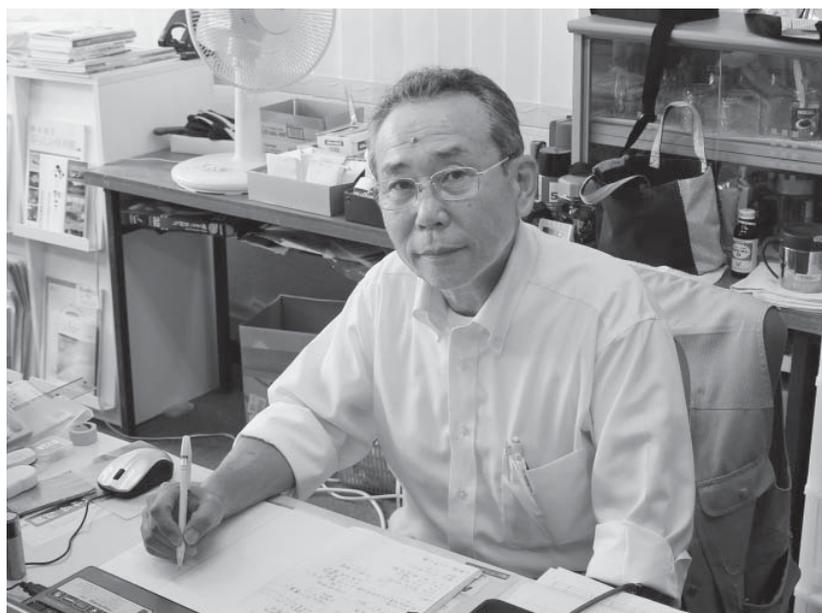
富士山登頂以降、時間を見つけては登山

を続けました。若く体力にも自信があったせいか、毎年必ず遭難者がでるような、冬山、岩や崖登りを伴う難関にもチャレンジしてきました。結婚後も続けていましたが、子どもが生まれてから、ある日、崖登りをしている途中、ふと、子どもの顔が目に見え、かんて以降、そうした危険を伴うような難関登りをすることはやめました。

双葉ふれあいクラブとの出会い

昭和55年、故郷にUターンしました。当初、双葉ふれあいクラブに入会し、その後、軽登山サークルのリーダーとして活動しています。当時の軽登山組織の多くは、陽気の良い季節だけ観光化されたところをハイキングに近いかたちで巡るケースが多かったようですが、当サークルは、トレーニングでも比較的難易度が高い場所を目的地としていました。それでも毎回、40人程度の皆さんが参加していました。また、冬の活動も行っており、阿武隈高地の中の霊山・日山・鎌倉岳等に、雪氷がある中で登ることもあるなど、同じようなサークルの中でも、珍しい存在といわれています。

現在、避難により、震災前ほどの活動はできませんが、不自由な避難生活の中、一人でも多くの皆さんにとって気分転換になるような活動を続けていきたいと思えます。



ほりかわ みつお
堀川光男 さん

(羽鳥)



●避難先●
埼玉県加須市

最後の行き先は「第一原発」

高校卒業後、電気店勤務を経て、タクシー会社の運転手になりました。その後、自動車教習所の送迎係をした時期もありましたが、震災当時は、再び、タクシー運転手として働いていました。

震災当日、大熊町内の営業所で乗務にあたっており、午後2時過ぎ、富岡町内でお客様を乗せ、福島第一原発に向かっていました。曇り空の寒い日、私を含め4人が乗った車両が、ヒラメ養殖施設の前にさしかかろうとしたとき、突然、激しい揺れに襲われ、パンクかと思ったところ、携帯電話で緊急地震速報が鳴り地震だと認識しました。道路はセンターラインに沿って亀裂が生じ、恐怖を感じました。しばらくして揺れが収まり、再び走り出し少し進んだところ、路面が陥没してできた穴にトラックが転落しており、それより先に進むことができず、お客様の同意を得て、そこで降車いただき、営業所へと戻りました。これが、故郷でタクシー運転手として、最後の乗務となりました。

最後になった自宅での一家団らんは「雑魚寝」

夕方までに私を含め家族が帰宅し、とりあえず居間だけを片付けました。停電のため暗く寒い中でしたが、石油ストーブで灯りと暖をとり、雑魚寝状態で夜を明かしました。翌朝、防災無線で避難指示を知り、午前9時

過ぎに自宅を出ましたが、川俣町に避難所に着いたのは午後6時過ぎでした。その後、さいたまスーパーアリーナを経て騎西高校に身を寄せましたが、まさか、震災当夜の雑魚寝が、自宅で過ごした最後の一家団らんになるうとは夢にも思いませんでした。

避難所の自治会長を通して

騎西高校が避難所となつて約半年経った頃、自治会を立ちあげることになり、その準備会のメンバーに選ばれ少しでも人の役に立てるならばとの気持ちで、平成24年春から1年間、自治会長を務めさせていただきました。突然の避難や各地の避難所生活は、不由な暮らしそのものでしたが、被災前まで当たり前でしかなかった「日常の生活」のありがたさやコミュニティーの大切など、数多くのことを学ぶことができました。

身内は福島県内で生活しているが

現在、町臨時職員として、加須市内にある町民交流施設に勤務しています。

姉たちや長男など、身内の多くが福島県内で生活していますが、次男や三男が安定して生活できることなどを考え、加須市内に家を建てました。しかし、こちらに移住する決断ができたわけではありません。将来再び、故郷や、せめてその近くで生活したいという気持ちを抱きながら、前向きな日々を送りたいと思います。

やまぐち しゅんすけ
山口 俊介 さん

(三字)



●居住地●
福島県いわき市



「双中↓双高」と進んだ「双葉っ子」

生まれも育ちも双葉町で、双葉南小学校から双葉中学校を経て双葉高校に入学し、大学に進学しました。典型的な「双葉っ子」だと自負しています。また、小中学校在学中は、それぞれ児童会長や生徒会長、合唱祭では指揮者を務めたこともありました。

同級生の名前が新聞紙面を飾る

大学生のとき、小中学校の同級生・渡邊一成君の活躍する様子が新聞紙上を飾っているのを目にしました。競輪選手になったとは聞いていましたが、ワールドカップのメダリストになっていることに驚き、同級生の一人としてうれしく思いました。

就職氷河期とリーマンショック

約10年前、大学卒業を控え就職活動をしていましたが、当時はまだ、バブル経済崩壊以降の経済低迷期「失われた20年」の中にあり、一流といわれる大学を出ても思うように就職できない、いわゆる「就職氷河期」にありました。大学4年のとき、教育実習のため母校でお世話になり、地元回帰の思いを新たにしましたが、民間への就職が困難な中、教職員や地方公務員への就職は、少子化や過疎化による定員減も加わり、非常に狭き門になっていました。

大学卒業後、飲料商社やアルバイトを経て、

平成20年、建設関連資材・機器等を扱う商社（現勤務先の前身）に入社しましたが、その直後にリーマンショックが発生しました。

故郷はかけがえのない癒しの空間

リーマンショック以降、同業者間の価格競争やお客様からの要求が厳しさを増す中、仕事を続けられるのかと心が折れそうになったこともありました。そんなとき、実家に帰ると、気持ちがりフレッシュされました。私にとって双葉町は、心身共に癒しを与えてくれるかけがえのない故郷でしたが、原発事故により、それまでのように足を踏み入れることができなくなってしまうことはとても残念です。自宅や母校が、時間の経過とともに朽ちていく様子を見るのは、辛く悲しいことでもあります。

震災後に見えた絆と希望

震災後、復興需要により仕事は忙しくなる中、高校の先輩から声がかかり、同窓会青年部の副会長を務めさせていただくことになりました。また、渡邊一成君がリオデジャネイロオリンピックの日本代表選手になりました。その壮行会にも出席しましたが、渡邊君が世界の舞台に立つことは、同級生の一人としてとてもうれしく、原発事故以降、故郷の将来が見えない中、仲間同士の絆や希望を感じる出来事になりました。



収穫の最盛期を迎えた畑で (妻・米子さんとともに)

熱海ぶどう園

ささき あきお
園主 佐々木 昭男 さん

(山田)



●避難先●
福島県郡山市

出稼ぎに「行く」から「来る」町に

かつて、農業以外に何も無い地域といわれ、稲刈りが終り農閑期を迎えると、出稼ぎのため多くの男性が春まで町を離れる。

しかし、20歳を迎えた頃から、福島第一原発の建設が始まり町は活気づくようになり、全国から「出稼ぎに来る町」と姿を変えていきました。それから間もなく、第一原発が営業運転を開始して、多くの町民が原発関連の仕事に就きながら、出勤前の早朝や休日に農業を行うようになりました。

チャレンジは「豊かさ」のため

原発の建設・増設や営業運転の開始、高度経済成長期、日本列島改造論など、故郷がある浜通り地方を含め、日本全体が経済発展を遂げる中、私は農業と商工業の共存を目指し、建設業(有限会社昭工業)を営む傍ら、農業を営んでいました。周囲から、建設業と農業のどちらが本業かと尋ねられることもありましたが、車の両輪のような存在で「どちらもメイン」です。特に、バブル経済崩壊以降、建設不況と呼ばれ、厳しい状態におかれましたが、建設も農業も「土いじりでナンボ」の世界。会社としても積極的に農業分野に進出しました。稲作を中心に、養豚や野菜のハウス栽培などにチャレンジしてきましたが、環境保全や持続可能性を確保しつつ、美味しく健康に繋がるような農作物の生産を通して



〒963-1303 郡山市熱海町玉川青木葉平29-1
電話・FAX: 024-984-1072

※時期により品種が変わります。[8月中旬~] ヒムロット・あづましづく、[8月下旬~] ふじみのり・ゴルビー・ベニズ、[9月上旬~] シャインマスカット・キャンベル・ピオーネ、[9月下旬~] スチューベン。その他の品種も準備中です。お気軽にお問合わせください。【地方発送可】

目指したものは、故郷の恵みを生かした「豊かさ」をかたちにするのでした。

故郷を失っても「チャレンジは失わず」

平成24年からぶどう栽培に取り組んでいきます。避難先でお世話になった方がぶどう園を経営していましたが急逝され、ご遺族の心遣いにより園を引き継ぎました。ぶどう栽培は未経験でしたが、先輩耕作者や営農サポーターの皆さんからご指導を受け、お客様から一定の評価を頂戴できるようになりました。日当たりの良い丘陵地で有機栽培により育てたブドウは、甘味と美味しさが、たっぷり詰まっています。再び、故郷で農業をしたいというのが本心ですが「住めば都」と、妻と二人三脚でマイペースな老後を送りたいと思います。

季節料理
旬菜四季

かわしま いつき
代表 川島 樹さん

(新山)



●居住先●
東京都立川市



避難により同居している両親とともに
(左:母・政子さん、右:父・立夫さん)

「故郷になった」双葉町
東京で生まれた数カ月後、昭和56年6月、一家で、母の出身地である双葉町に移り住みました。高校を卒業と同時に、大学進学のため、東京に移りました。生まれ育ちは東京でも人生の大半を生活し家庭を築いた父や私たち兄妹にとっては、双葉町は「故郷になった地」というのが正しいのかもしれない。

ある意味「戸惑いや苦労」があった父
私にとつて、双葉に移り住んでから物心がつくようになったので、田舎の生活が当たり前でしたが、父にとつては、ある意味大変なところがあったようです。

父は、双葉に移ってからは発電所関係の仕事に就いていましたが、それまでは、板前として飲食店に勤務していました。夜に活気づく業種だったため、午後6時を過ぎれば人の姿が見えなくなる街や、午後9時には多くの人が眠りについてしまう状況に、戸惑いや、そうした生活に慣れるための苦労があったそうです。

幻になったUターン

大学卒業後、私は料理人の道を進みました。30歳が近づいた頃から、故郷に戻り店を開きたいと思い、少しずつ、その準備を進めていきました。震災直前には、実家に荷物を運び始めるなど、平成23年中には、東京

を引き払うつもりでした。しかし、原発事故により、それは叶わぬこととなり、まさに「幻のUターン」となってしまうました。

両親らの避難と都内での開業

Uターンが不可能になったため、東京都日野市で和食料理店を開業しました。両親らは都内で避難生活を送っていましたが、家族一緒に生活、私の生業、そして父が望んでいた板前への回帰などのために物件を探し、昨年1月、現在の店をオープンしています。昼間は両親、夜は私が厨房に立っています。震災前のように、故郷で獲れた山の恵みを生かして腕を振るうことができている中ですが、お客様には、都会生活の中でも季節感を楽しんでいただきたいこともあり、夜は完全予約制にするなど、こだわりをもって仕事に臨んでいます。



〒190-0004
東京都立川市柏町3丁目32-2
電話・FAX: 042-537-5660
営業時間 ランチ 11:30~14:00
ディナー 18:00~21:00
定休日 土・日・祝祭日、予約無の日
※ディナーは予約制(前日まで予約願います)

ぼくの夢・わたしの夢



いわき市立菊田小学校6年 ^{わたなべ}渡部 ^{りくと}陸翔くん (三字)

ぼくの将来の夢は、飛行機のパイロットになることです。飛行機の会社や種類はたくさんあるけれど、ぼくが今一番なりたいと思っているのはANAです。ANAは全日本空輸株式会社とも呼ばれています。

ぼくがパイロットに興味を持ったきっかけは「ミス・パイロット」というドラマで、ずっと見ているうちに飛行機に興味を持ちました。そして、飛行機のことを詳しく知りたくなりました。もし、ぼくがパイロットになれば、お客さんの安心・安全を守れるフライトをし、これからは将来に向けて、けじめをつけて頑張っていきたいです。そして、時間もちゃんと守れるようにして、将来の夢をかなえられるように努力していきたいです。

今月のベストスマイル



— 編集後記 —



市町村対抗福島県軟式野球大会に出場した、左から石澤拓也さん(郡山)、谷津田淳之さん(三字)、山田琢磨さん(下条)の笑顔です。

秋本番の10月を迎えました。例年になく台風が多く発生した9月、観測史上初めて東北地方の太平洋側に大型の台風が上陸しました。岩手県を中心に多くの爪痕を残し、犠牲になられた方もいました。避難指示や避難勧告も出され、ニュースでその言葉を聞くたびに5年半前のことが頭の中をよぎり、自然の驚異を思い知らされました。

今月の表紙は、鴻崎フミさんの賀寿式でフミさんがお礼の言葉を述べられている場面です。百歳の誕生日に、家族の方々に囲まれて祝福されることは素晴らしい幸せなことだと思います。

10ページでもお知らせしましたが「ニュースふたば」の配信が開始しました。町からのお知らせはもちろん、イベントや交流会の様子などでは、なかなか会うことができない懐かしい顔が画面に登場しますので、ぜひ、お手持ちのタブレットやパソコンなどからご覧ください。

連絡先

○いわき事務所 〒974-8212 福島県いわき市東田町二丁目19-4
☎ 0246-84-5200 FAX 0246-84-5212、0246-84-5213
✉ futaba@town.futaba.fukushima.jp

○郡山支所 〒963-8024
福島県郡山市朝日一丁目20番2号
☎ 024-973-8090
FAX 024-933-5120
✉ fukushima@town.futaba.fukushima.jp

○埼玉支所 〒347-0105
埼玉県加須市騎西36番地1 加須市騎西総合支所1階
☎ 0480-53-7780
FAX 0480-53-7266
✉ saitama@town.futaba.fukushima.jp

○双葉町公式ホームページ <http://www.town.fukushima-futaba.lg.jp/>
携帯サイト <http://www.town.fukushima-futaba.lg.jp/m/>

○双葉町公式ブログ「ブログ ふたばのわ」
<http://futabanowa.wordpress.com/>

